

ドリーエンターテイメント

No.14
2012.3.1

編集発行／七ヶ浜町ボランティアセンター〈七ヶ浜町社会福祉協議会〉

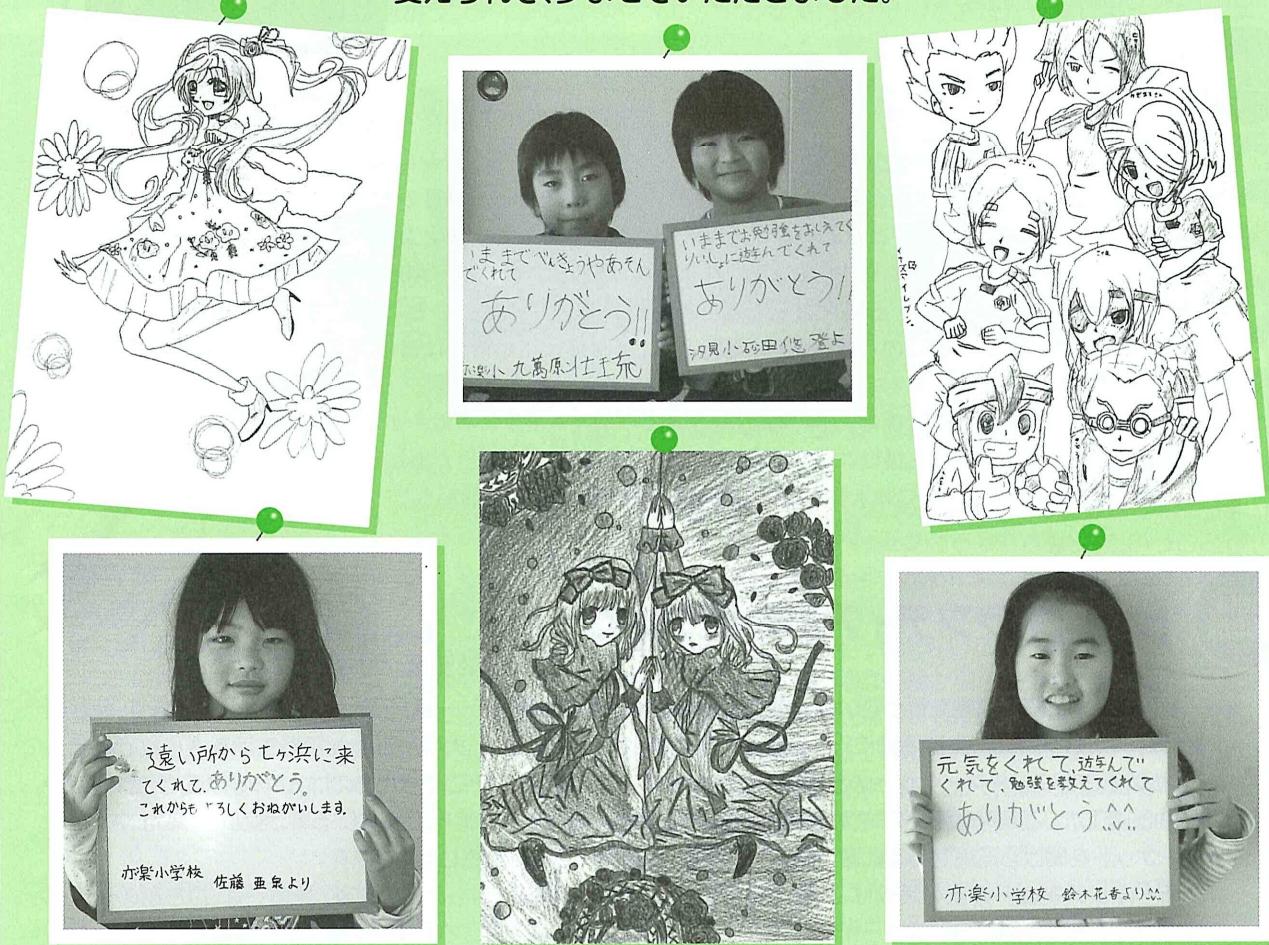
〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153 TEL.022-349-7781

E-mail : sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp

FAX.022-349-7782

災害ボランティア特集!!

町民の皆様のご協力と、ボランティアさんの「熱い思い」と「大きな力」に支えられて、歩ませていただきました。



カット協力／亦楽小学校 まんがイラストクラブ

3月11日より、災害ボランティアセンターの名称が変わります。

浜を元気に! 七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター

今後は七ヶ浜町の復興支援を中心とした活動を行ってまいります。

尚、個人宅のガレキ掃除や畠の復旧作業など、従来通りの活動も継続していくので、お気軽にご相談下さい。

〒985-0802 七ヶ浜町吉田浜字野山5-9 屋内ゲートボール場スパーク内
TEL.090-6853-4490

今月号の内容

- 支援してくださった企業・団体のみなさんの声
- 地元のボランティアさんの協力
- 数々のプロジェクトを開催!
- ありがとう! 支援団体の皆さん
- ボランティアさんありがとうコンサート
- 春らんまんの湘南へご招待(募集)

支援して下さった企業・団体のみなさんの声!

RSY

七ヶ浜ボラセン、ありがとう

特定非営利活動法人レスキューストックヤード
愛知県／代表理事 栗田暢之

普段身近にいた人が犠牲になった。命は助かつたけど、すべて流された…。筆舌し難い状況の中、まずはよくぞボランティアセンターを立ち上げていただきました。心より御礼申し上げます。「被災地支援」という言葉がありますが、「被災者支援」の方がしっくりきます。それはボランティアが泥を片付けたり、豚汁を作ったりすることが目的ではなく、いつもその向こうに「人の顔」が見えることが大切だと思うからです。七ヶ浜ボラセンは、それを見事に実践されています。きずな館のボランティアさんもそうですが、七ヶ浜の特徴はリピーターが多いことです。日々に「七ヶ浜はやみつきになる」と。それは受け入れの温かさと丁寧さ、そして支援の向こうに人の顔が見えるからであります。時には涙し、時には大笑いし合った「人」との交流は互いの生きがいにもなります。長きにわたり私たちのような者を受け入れていただき、感謝の念に堪えません。やみつきは治まりそうもありませんので、もうしばらく「ともに、前へ」にご一緒させていただきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。



七里ガ浜

七の心をつないで…

七里ガ浜発七ヶ浜復興支援隊／代表 中里成光

きっかけは七里ガ浜で行った「復興支援プログラム」。被災地の為に何か出来ないか、余震に怯える子ども達を元気にさせたいという思いから。その中で集めた支援物資を届けに4月の七ヶ浜へ向かった。初めて訪れた七ヶ浜の海は無数のコンテナと瓦礫が散乱し愕然とした。その中で黙々と瓦礫を撤去していた知人に出会い、何とか力になりたい、この海を再生したいと。地元に戻り町内会・商店会・学校関係・各団体の強力なバックアップのもと、地名・地形が似ている縁から七ヶ浜を継続的に支援し続けようと「七の心をつなぐ」をキーワードに支援隊は発足した。第一回目のバスは6月に運行され、毎回募集開始直後にはほぼ満席となり、1ヶ月で8回目を迎えた。延べ400人近いボランティアと後方支援者の思いを運んでいる。

七ヶ浜町の皆さまの温かいサポートのもと、現在までが人も出ずに活動させて頂き感謝の言葉しかありません。今後、支援はニーズに合わせ形を変えながらも、七里ガ浜は七ヶ浜を応援し続ける事をお約束します。この未曾有の大災害から住民全ての方に笑顔がもどるまで。

team
RESCUE

七ヶ浜ボランティア活動について

teamRESCUE
愛知県／小野汐帆美

私は継続的に支援活動を行っている団体である名古屋を拠点とするチームレスキューに所属しています。私が最初に宮城県七ヶ浜町に支援活動に行ったのは、4月28日でした。町では、大勢の方々が避難生活を送っていました。私はそこでフリーマーケットのお手伝いをさせて頂いたのですが、そこで見たものは人々の「謙虚さ」と「思いやりの心」でした。こんな状況下でさえ、些細な事にでも感謝と思いやりの心を持っている事、混乱する事なくフリーマーケットを開ける環境であると言う事は、私達日本人の誇りであると感じました。

チームレスキューの主な活動は、瓦礫の撤去や泥出し、室内清掃と言ったものです。現場では、持ち前のチームワーク力でお互い助け合いながら作業を進めていき、任された案件を完了させた時の達成感は毎回とても大きなものです。

そして私達の原動力となっているのが、現地の方々の「笑顔」です。私達が行く度に「お帰りなさい」と温かく迎えて下さるボランティアセンターの皆さま、依頼された案件が完了した際の家主さんのとびきりの笑顔と心からの感謝のお言葉、それを見る度私は、心からこの町の復興のお手伝いをしていきたい、と感じます。

そして私には心に染みた、忘れる事の出来ない家主さんからのお言葉があります。それは「どうか30年、50年後にもう一度この七ヶ浜町に来て下さい。きっと素敵なお町になっています。」という力強いお言葉です。

このかつてない程大きな災害にも負けず、前向きに一歩一歩、歩んでいる現地の方々の背中はとても大きくて頼もしく、未来への希望を与えて下さいました。

これから先復興への道のりは長く、険しいものかも知れませんが、私達はこれからも出来る限りの力でお手伝いしていきたいと思います。

大学生協

七ヶ浜町でのボランティア活動

大学生協ボランティアセンター／富川竜生
(九州工業大学 工学部 電気工学科 4年)

全国の大学生協のある大学に通う学生を募集し、最初に七ヶ浜町でボランティア活動をさせていただいたのが、4月18日。最初は避難所支援活動や瓦礫の撤去作業などから始まり、ボランティアセンターのブログ立ち上げの手伝い、資材管理など大学生の力が発揮できるようなこともさせていただきました。

夏から現在にかけては、学習支援活動もさせていただいている、毎回多くの小・中・高校生が参加してくれます。参加してくれる子達と大学生との信頼関係もできつつあり、このつながりを今後も継続できればと思っています。

七ヶ浜で活動した学生は、必ず「また来たい」と言います。それは、七ヶ浜町災害ボランティアセンタースタッフの方の人柄や魅力もしかり、七ヶ浜という町全体が温かい雰囲気で県外から来るボランティアを受け入れているからだと思います。これからも微力ながら七ヶ浜とともに前に進んでいきたいです。

敬和学園

「行って、あなたも同じようにしなさい」

新潟県 敬和学園高等学校
宗教主任／野間光顕

敬和学園高校は、2011年度を始めるにあたり、東日本大震災で被災された方々を覚えつつ、その全てに取り組む事を決定しました。その具体的な行動の1つとして、5月から計10回にわたり、七ヶ浜町での被災支援ボランティアが挙げられます。七ヶ浜ボランティアセンターの皆様の、丁寧で献身的なサポートを受けながら、大きな事故やケガ等なく、貴重な経験をさせて頂き、生徒は延べ人数120名、スタッフ・教師も約50名が参加する事ができました。

新約聖書ルカによる福音書には有名な「善きサマリア人」と呼ばれる譬え話が書かれており、その最後にはイエス・キリストが「(苦しむ人の隣人となるため)行ってあなたも同じようにしなさい。」と教えています。キリスト教を土台としている敬和学園では、大切な人間教育の機会として、また参加者一人ひとりがこのイエスの言葉を実践する機会が与えられた事に心より感謝いたします。皆様の一日も早い復興を、新潟から心より祈念しております。

NTT
コミュニケーションズ

共に前へ

東京都／北村友一

私は七ヶ浜町の方々には心から感謝しています。

震災以降の宮城県の状況をマスコミを通じて見るにつけ、居ても立ってもいられない衝動が起き、またその頃偶然にも会社からのボランティア支援を受ける事ができ、七ヶ浜町を訪れましたが、現地で触れ合う皆様の前向きな心や温かい感謝のお言葉に接し、逆にこちらが元気をいただく感動的な体験をいくつもさせていただきました。

これらの重いお言葉の一つ一つが、それ以降七ヶ浜に足繁く通ってお手伝いさせていただく、原動力になっています。

個人ボランティア一人ができる事は微力でもありますし、限界もありますが、少しずつでも活動を継続し、支援の輪を広げて行く事が重要であると考えています。

みなさんの未来と子供たちへの希望を繋ぎ、繋ぎ続けられる一助になれるようこれからも寄り添って行きたい。そう思うだけで今日も私は七ヶ浜へ向かいます。

丸紅
グループ

元気になる手伝いをさせて下さい!

東京都／井上奈都子

六月に初めて伺った際、個人のお宅での作業をしながらまことに思つたことは「これは当事者ではできない」ということでした。他人の私達にも辛すぎる作業でした。蘇つたのは私自身の経験です。私には離婚の経験があり、当初私はただただ落ち込み、もしくは何も考えないことで精一杯で、後始末に関する嫌な作業の一切は両親が引き受けってくれました。

今回はそんな自分と被災された方を重ね合わせ、少し元気になって周囲を見回してみたらいつの間にか片付いていたという状況を今度は私が作ることができたらと思いました。そうした経験もあり、私と同様、周囲が励ましてくれるのが有り難い一方、放っておいてほしいという気持ちがあつたり、早く元気にならなくちゃという思いと元気になんてなれないという思いを行ったり来たりしていたり、七ヶ浜の方もそういう思いをされているのかな、などと思つたりもしました。

私はあの時のお札をまだ両親に言えていません。照れくさい思いがあるのもそうですが、どこで気持ちの区切りがついたのか、まだついていないのかがわからないので言うタイミングを逃してしまったというのが本当のところです。でも時間が解決するというのは本当でした。少しずつですが気づいたら元気になっていて、人と会う回数が増えたことが私にとっては回復を実感する瞬間です。今まだお元気でない方にも必ずそういう日が訪れます。あんなに落ち込んだ私が言うのですから間違いないです。お片付けは私達黒子に任せてゆっくり元気になってくださいとお伝えしたいです。

地元のボランティアさんの協力で運営された 集会所待機ボランティア

仮設住宅集会所待機ボランティアとして
地元のボランティアグループが
協力してくれました！



●七ヶ浜町ボランティア友の会

- ・第1仮設待機ボランティア
- ・ボランティアセンター受付班

●結の会

- ・七ヶ浜中グランド仮設待機ボランティア
- ・イベントボランティア

●あねっこ

- ・国際村仮設住宅集会所待機ボランティア

●七ヶ浜レクリエーション協会

- ・湊、諂仮設住宅集会所待機ボランティア

集会所待機ボランティアをさせて貰いて

横浜市／遠藤正基

幼い頃、祖父によく連れられて遊びに来た七ヶ浜へ震災直後に立ち寄った際、その変わり果てた光景に言葉がありませんでした。その光景が忘れられず、自分にも何かできないかと思い、横浜から単身仙台市内に引っ越しして、町内に通うようになりました。

それ以来、お会いする方々から日々の会話の中で大切なことを教わり、たくさんの元気ももらいました。復興のお手伝いに来たつもりが、逆に「感謝の気持ち」を感じる毎日です。そんな七ヶ浜のことをこれからもずっと想い続けていきたいと思います。

地元大学生ボランティア

東北福祉大学 大学院／渡辺圭(菖蒲田浜)

ボランティアセンターの運営スタッフとして数々の活動をしてくださった大学生がいたことをみなさんご存知ですか？

その大学生は、地元宮城県の東北福祉大学、東北学院大学の学生さん達で、東北福祉大学では、総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科の森ゼミナールの学生約30名が6月～10月にかけて事務局の補助、センターの環境整備活動、被災者ニーズ調査等の活動を行いました。また、東北学院大学教養学部地域構想学科の増子ゼミナールでも同様に、約10名の学生が8月～9月かけて事務局の補助、環境整備活動等の活動を行ってくださいました。これから、社会走出去いく大学生にとって、七ヶ浜町災害ボランティアセンターでの活動が良い学びや経験になってくれることを願います。



おじさんパワーで手伝ってくれています！

町民とボランティアに育てられた ボランティアセンター

岡崎正憲(汐見台)

災害ボランティアセンターは、3月13日に活動が開始されました。数年前から訓練を受けていた社協の職員を中心に運営され、素人の小生は行政とのパイプ役として参加し、現在に至りました。暗中模索の毎日の中、驚愕するほどの人数のボランティアさんに支援をいただいてまいりました。被災された方々のわずかではある心の安らぎを求め、またボランティアの方々が十分に力を発揮できる環境づくりに、日々修正、修正の連続で町民とボランティアに育てられたボランティアセンターでした。



ボランティアの皆さんに感謝！

阿部和夫(境山)

発災後、全国・全世界から多くのボランティアの皆さんの活動により、被災地も本当にきれいになりました。人と人とのつながりの大切さを実感したのは町民の皆さんはもちろん、我々スタッフであったと思います。しかし、このご苦労に対する返礼はいかにすべきか？いろいろ迷い

ますが、「感謝の念を態度であらわすことが大事」であります。相手にわかるように大きい声で、「ありがとう」の一言、そして心からの笑顔を忘れずに！



数々のプロジェクトを開催!!

スイセンプロジェクト in 七ヶ浜

ボースカウト塩釜第1回力部隊隊長 神名川里美

園芸家の柳生真吾さんが立ち上げた、全国の庭から掘り起こしたスイセンの球根を被災地に植えるという「スイセンプロジェクト」。そのスイセンの球根を津波で家も木々も流された景色の中を通う子供の通学路に植えたい、そう思ったのが七ヶ浜でのプロジェクトのきっかけでした。植えるまでには草をむしり、流れてしまった表土を足して腐葉土を入れるなどボランティアセンターの方にご尽力いただきました。

10月30日は、松ヶ浜小学校に通う親子10名、ボースカウト塩釜第1回、七ヶ浜町災害ボランティアセンターのみんなで、菖蒲田浜県道沿いの2か所に500個を超えるスイセンを植えました。

「早く花が咲くといいな」と花の咲く日を待ち望めるように。咲いた花を見て子どもたちの心がほっと和めるように。花の咲くのを楽しみにしています。



ひまわりプロジェクト「夏が楽しみになりますよ！」



七ヶ浜町を継続的に支援してくれているイオングループ労働組合連合会から、貴重なひまわりの種をご提供いただきました。様々な被災地で植え続けられ収穫されたものだそうです。ボランティアセンターでは住民の皆様と一緒に植えて七ヶ浜の夏を更に美しく彩る御手伝いをさせていただきます。「私の土地に！」と思われる方、是非下記までご連絡下さい！

【お問い合わせ】

浜を元気に！七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター
☎090-6853-4490

お礼状プロジェクト



ボランティアさんへお礼のハガキを書きました！震災後七ヶ浜の復興のために4万人以上のボランティアさんがきてくれました。ありがとうございました。

皆様のコメント書きのお手伝いお待ちしております！

復興に向けて…

私達に手を差し伸べてくださったボランティアの皆さん。あたたかく受け入れて下さった町民の皆さん。本当にありがとうございました。これからは共に手をとりあって、復興に向けて進んでいきましょう。



ご支援本当にありがとうございました!!

レスキューストックヤード
チームレスキュー
NTTコミュニケーションズ(株)
日本コカ・コーラ株式会社
日蓮宗 立正結社
箕面市社会福祉協議会
ブルデンシャル生命保険株式会社
鳩山町役場 健康福祉課
みちのくグリーンサムクラブ
一般社団法人MMIX Lab
(株)ふくおかファイナンシャルグループ
鳩山町社会福祉協議会
NPO法人はちきたSC
塙釜市民ボランティア
山本学園高等学校
しらおか薔薇俱楽部
丸紅株式会社
(株)みずほフィナンシャルグループ
沖電気工業株式会社
石岡市災害救援ボランティアチーム
敷島の会
上三川町社会福祉協議会
福岡銀行
日本キリスト教団
からだ復興支援隊 ボディケン
渦潮電気(株)

大日本住友製薬株式会社
モルモンヘルピングハンズ
東北大学教育・学生支援部
宝塚市社会福祉協議会
御嵩町教育委員会
千葉県旅行業協会
豊岡市社会福祉協議会
全国大学生活協同組合連合会
JUON NETWORK
セガサミーホールディングス(株)
島原ボランティア協議会
サロン・ド・アンファミユ
仙台コカ・コーラボトリング(株)
にいがた災害ボランティアネットワーク
(株)ネクスコ・エンジニアリング東北
山の自然学クラブ
朝日町役場
ここねっと発達支援センター
(有)サンエー技研
仙台朝市商店街復興組合
カイ アルファ ジャパン
未来予想図実行委員会
ジブラルタ生命
恵那市社会福祉協議会
河本電気
KDDI

精華町社会福祉協議会
金剛禪總本山少林寺
MELON情報センター
地球の楽好
河北新報社
(株)イングラム
(有)狩野造園
鳥取県社会福祉協議会
ボランティア活動センターこくぶんじ
靖和染色株式会社
浄土真宗本願寺
長野電鉄株式会社
東京ガス株式会社
敬和学園高等学校
(株)めもり~旅行
カルビー株式会社
イオン株式会社
株式会社ベルプランニング
ダイナム株式会社
三菱マテリアル株式会社
京成バス株式会社
(株)三井住友ファイナンシャルグループ
7shees
JXホールディングス
デンソー



(順不同・敬称略)
H23年12月現在

●情報誌

ボランティアさん ありがとう! コンサート

無料



プラハより希望の調べ

ヴラダン・コチ チェロ・親子リサイタル

日時 2012年3月31日(土) 15:00時開演(14:30開場)

会場 七ヶ浜国際村 国際村ホール(宮城県七ヶ浜町)
全席自由席【入場無料】

出演 ヴラダン・コチ(チェロ)
ルツィエ・コチ(ヴァイオリン)
有吉英奈(ピアノ)



プログラム (都合により変更される場合があります)

ドヴォルザーク／ピアノ三重奏曲第4番 ドゥムキー
バッハ／G線上のアリア
ラヴェル／ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
イザイ／無伴奏チェロソナタハ短調
サン=サーンス／白鳥
日本唱歌／浜辺の歌 さくら 他

大切なお知らせ

(ボランティアセンターへ活動を依頼された皆様へ)
活動に入らせていただきありがとうございました。
3月中頃よりアフターフォローの電話か訪問をさせて
いただきます。御手間を取らせますがよろしくお願ひ致します。
お問い合わせ先
七ヶ浜町ボランティアセンター ☎090-6853-4490

募集

春らんまんの湘南へご招待

大規模半壊以上の世帯の中学生三年生を対象に春の湘南(神奈川県小田原市)へご招待いたします。

とき 3月29日(木)～30日(金)1泊2日
*バスで往復送迎します。

内容 小田原城見学
二宮尊徳(金次郎)記念館見学
地元学生との合唱交流会

宿泊先 大雄山 最乗寺宿坊(南足柄市)
☎0465(74)3121

対象者 東日本大震災により居住家屋が大規模半壊以上の世帯の中学生(3月現在)20～25名

参加費 無料

主催者 小田原梅の実歌謡連盟 代表／市川美都江
☎0465(37)6238

申込期限 3月19日(月)

申込・お問い合わせ

七ヶ浜町社会福祉協議会 ☎022(349)7781

ソニー仙台サッカーチームからのお知らせ

ソニー仙台FC 2012JFL
七ヶ浜スタジアム試合スケジュール
3/31(土) 13:00 VS SAGAWA SHIGA FC
5/26(土) 13:00 VS カマタマーレ讃岐
8/18(土) 15:00 VS AC長野/パルセイロ
10/20(土) 13:00 VS ホンダロックSC
10/27(土) 13:00 VS HOYO大分

七ヶ浜町民の方は、七ヶ浜スタジアムに設置されるチケット売り場にて住所のわかるもの(免許証・保険証・学生証など)をご提示いただけますと入場券をプレゼント致します。

(1回の提示で1家族様)

お問い合わせ先／ソニー仙台FC事務局 ☎022-367-2375

『ドリー夢』とは、夢をかなえる思いをこめて、ボランティアさんが名前をつけてくれました。セントラルームの愛称となっています。